

令和元年度第1回はんだ環境パートナーシップ会議録

開催日時	令和元年7月8日(火) 13時30分～15時30分				
開催場所	半田市役所303・304会議室				
会議次第	1. あいさつ 2. 議事 (1) 意識調査(アンケート)最終案について (2) 半田市環境基本計画推進状況(平成30年度実績)の評価について 3. その他				
出席委員 ※敬称略	会長	千頭 聡			
	副会長	石川 由弘			
	委員	藤田 純代	平林 明美	澤田 政孝	
		藏谷 善次郎	桑田 八重子	牧野 純子	
		神戸 繁明	近藤 倉治	榊原 正躬	
鈴木 俊行					
欠席委員 ※敬称略	和喜田 恵介				
出席職員	事務局	部長	滝本 均	課長	大嶽 浩幸
		主査	森下 直孝	主査	中村 裕道
		主事	青木 大介		

次 第	議 事 概 要 各委員の発言は、市民・団体の代表としての発言ではなく、あくまで個人としての発言です。
1. あいさつ	<p>－市民経済部部長あいさつ－（略）</p> <p>部長退席</p>
2. 議事	<p>（1）意識調査（アンケート）最終案について</p> <p>－事務局資料に沿って説明－</p> <p>（事務局）</p> <p>令和2年度に第2次環境基本計画を策定するにあたり、意識調査として今年度実施します。また、第1次環境基本計画の策定時と中間見直し時にアンケートを実施しているため、意識がどのように変化したかの評価にも利用します。</p> <p>意識調査については、昨年度の第3回環境パートナーシップ会議でも一度議題にしています。</p> <p>委員のみなさまのご意見を反映して、資料1が市民向け・資料2が事業者向け・資料3が小中学生向けの最終案になります。</p> <p>市民及び事業者のアンケートは、この会議で承認いただければ、7月末に送付します。回答期限は送付の1か月後とします。</p> <p>小中学生のアンケートは、9月の校長会で概要説明し、その後実施します。</p> <p>市民アンケートは、住民基本台帳を用いて無作為抽出により</p>

2,000名に実施します。年代毎で満遍なく意見を反映させたいため、平成25年度実施のアンケート結果を参考にして、若い世代の調査数を増やし、年代毎の回答数の想定が150～160前後になるようにしています。

事業者のアンケートは、無作為抽出により100事業者に実施します。

なお、昨年度の第3回環境パートナーシップ会議において、「調査対象を25名以上の規模に指定してはどうか」と意見が出たが、25名以上の事業者は、全体の約16%であったため、事務局としては、25名未満の事業者は無視できないと考えています。小中学生は、各校小学5年生及び中学2年生の1クラスを対象とします。

(澤田委員)

アンケートを取ったからには何らかの改善が見えないとアンケートに答えてもらえなくなる懸念がある。前回のアンケート結果を踏まえて、改善されたことはあるのか。

(千頭会長)

前回のアンケートの結果を受けて、個々に改善した資料はないと思う。アンケートを踏まえ、計画の策定をする流れと認識

している。

(事務局)

そのとおりです。

(澤田委員)

アンケート結果を改善につなげることは、難しいことも理解しているが、それが見える形になると、意見が反映されている実感がわく。

(事務局)

新計画の策定にあたって、取り入れていくよう検討する。

(千頭会長)

大事なご指摘です。第1次計画の策定に当たっては、畜産由来の悪臭の問題がアンケート結果から市民の関心を集めた。しかし、正面からあまり大きな議論はしなかった。大事な指摘であるので、新計画の策定の際には、見える化をしていく。

(千頭会長)

小中学生のアンケートについては、学校も忙しいという議論も出るが、お願いするのであれば、結果を子どもに返すことはもちろん、アンケートする意義を返せるようにしてほしい。

校長会の藤田委員は現場もご存じでしょうから、ご意見いただきたい。

(藤田委員)

子どもの意見であるので、どこまで計画に反映させられるかは疑問ではあるが、子どもの意見が取り上げられ、例えばこのことは策定の際に議論されていたということを返してもらおうと、子どもたちは意見を出してよかったと思える。校長会などに返してもらえれば、現場に返していく。

(千頭会長)

なんらかの形で学校に返すようにしましょう。

(事務局)

承知しました。

(榊原委員)

パートナーシップ会議に限らず、どこかの会議では、このアンケート結果は示されるのか。

(事務局)

まず、第3回のパートナーシップ会議で行うことを考えている。アンケート結果を提示する。

(桑田委員)

各校1クラスというのは、学校としてはどうか。

学年全体の方がよいのではないかと感じた。学校は1クラスをどのように選ぶのか。

(事務局)

当初と中間見直しの際にも、各校1クラスずつで行い、大体同じ数値で比較したい。

(藤田委員)

学校では、授業が早く進んでいるクラスや分担をするなどで対応している。全クラスのアンケートを依頼されるよりも、提示された各校1クラスずつがありがたい。しかしながら、欠席や不登校の問題もあるので、回答率100%にこだわることはご遠慮いただきたい。

(千頭会長)

今回のアンケート結果は、新計画の策定及び第1次計画のまとめにも使用する。まとめの際には、当初と中間見直しで行ったアンケートと比較する。

また、アンケート結果を市民に公表することはもちろん、学校にも校長会を通じて、もしくは少なくとも協力したクラスに

	<p>はどのような意見が出たのか、返していく方向で動くようにしましょう。</p> <p>(事務局)</p> <p>こちらのアンケートで送付させていただいて問題ないか。また、事業者の送付先についても、事務局案のとおりとしてよろしいか。</p> <p>《異議なし》</p>
	<p>(2) 半田市環境基本計画推進状況（平成30年度実績）の評価について</p> <p>—事務局資料に沿って説明—</p> <p>(事務局)</p> <p>委員個人の評価・意見を資料4にまとめています。</p> <p>これを基に、パートナーシップ会議として、「評価できる点・評価できない点」「期待したい点」「問題と思われる点」を本日まとめてください。</p> <p>また、柱ごとの4段階評価も本日まとめてください。</p> <p>本日まとめていただいた意見は、第2回会議の前にまとめ、委員のみなさまに提示します。それを基に、委員個人の提案をいただき、第2回会議で、パートナーシップ会議としての提案と</p>

してまとめます。

なお、資料5については、委員のみなさんに事前に質問をいただいたことに対して、各課の回答を取りまとめたものになります。

本日会議内でまとめていただく際は、提案につなげるため、『「Aのことは評価できる」ので「Bのことに期待したい」』『「Aのことは評価できない」ので「Bのことが問題だ」』と流れを意識していただきます。

(千頭会長)

まずは、柱1について、ご意見ありますか。

(榊原委員)

確認事項であるが、水質調査について、委託していると思うが、水の採取についても、委託か。

(事務局)

全て委託としている。

(澤田委員)

「BOD・COD・SS・DO」「耕作放棄地」などの指標は市民には分かりづらい。

BODがよいだけで、泳げるという訳ではない。指標について、1個1個が市民に分かりやすい設定にしてほしい。市民に分かりづらい指標では、環境自体が疎遠なものとなってしまう。

また、柱5本だけでの評価では、柱の総合評価で良いものの中に悪いものが隠れてしまう。市民の健康にかかわるものは独立させた方がよい。

(事務局)

新計画の策定の際には、なるべく分かりやすい指標とする。

(千頭会長)

全体評価を絶対評価とせず、中身とセットであることを示す。

水質については、例えば、生き物の指標などで説明するようにする。

(澤田委員)

ごみが浮いてないとか水の臭いはどうかなど言葉を分かりやすいものにしてほしい。BODを残すのであれば、BODの数値が高いとどうなるのかなど説明をするようにしてほしい。

(桑田委員)

柱1については、トータルしてA評価でよいと思う。

但し、評価できない点や問題と思われる点も多く上がっている  
るので、特にこれとこれは問題であり、今後どうすべきかを  
提案すればよいと思う。水の関係は、特にまとめておきたい。

(千頭会長)

事務局的には、個人の意見ではなく、集約したいと考えてい  
るのか。

(事務局)

表裏一体の部分もあるので、必ずしもまとめられないのかも  
しれないが、2・3程度に集約したいと思っている。

(千頭会長)

全ての意見をまとめる時間は厳しいと思う。

みなさまにお諮りします。項目毎でまとめて行く作業は事務  
局でまとめてもよいか。

《異議なし》

(千頭会長)

大きくは、大気汚染・河川・臭気と見受けられるが、今年度

はイエローチョークも評価されている。

個人的には、無理して集約するよりも、明らかに同じ意見は集約する必要があるが、20項目を2・3項目にまとめる必要はないのではないかと思います。

(事務局)

委員個人の意見ではなく、パートナーシップ会議としての意見に集約したい。

(千頭会長)

各委員から「問題と思われる点」が既に提示されているが、それをさらに集約した方がいいのか。

(事務局)

期待したい点から提案事項まで話をしていただいたほうが話をしやすいのであれば、本日議論していただいて結構です。

(千頭会長)

それでは、特にネガティブな面で、「評価できない点」「問題と思われる点」さらには「提案事項」まであれば、ご発言をお願いします。

(榊原委員)

委員個人のそれぞれの立場で書いているので、集約は困難である。

(藤田委員)

神戸川の水質が悪い件について、地域の人には知らないと思うが、汚れている原因をどのように返しているのか。

行政の力でなんとかしてほしいことが問題点として書かれていると思うが、地域の住民が力を併せてやったほうが良いことなどはどのように分けていくのか。また、それらをどのように返していくのか。パートナーシップ会議として提案した事項で、住民に対する行動の提案は、どう伝わっていくのか。

(事務局)

評価・提案をまとめたものは、担当課に戻しています。市民などに提案・提示できることは、担当課から発信することができると考えている。

(藤田委員)

それであれば、分かりやすい状況や原因の提示が必要です。

(千頭会長)

市民側ができることも、これまで通り提案に挙げていく。

(近藤委員)

川の問題が一向に改善されていない。市民感覚では、綺麗にしたい気持ちはあるが、水利権の問題があり、市民の限界がある。行政が、なんとかする立場に立つこと。川の問題は、身近で、目につくところであり、行政として「今年は川を重点的に取り組みます」など示し、改善点をアピールして欲しい。そのような視点で行政も取り組んで欲しい。

(千頭会長)

汚濁源の調査のみでなく、水量を増やす方法なども検討が必要というご指摘です。明記していきましょう。

(榊原委員)

水質の問題と水利権はとくに関係がある。

(近藤委員)

耕作放棄地が多いので、水は余ってきていると思う。そこは、行政が動く必要があると考える。

(千頭会長)

柱1の評価は、全体としては「A」としてよろしいか。

《異議なし》

(千頭会長)

それでは、柱1は「A」評価として、問題となることは中身にしっかり記載していくように事務局で作業をお願いします。  
続いて、柱2に移ります。

(神戸委員)

「家庭部門CO2年間排出量」について、按分計算と記載がある。私は、半田市独自の数値と思っていたが、どのような数値を使っているのか。

(事務局)

環境省の数値を参照している。都道府県別のエネルギー消費統計から、愛知県の家庭炭素排出量を県の世帯数で割り、市の世帯数を乗じている。

(神戸委員)

愛知県の数値を半田市の数値として扱っているのか。

(事務局)

県の数値を市の世帯規模に併せて、掲載しています。

(神戸委員)

半田市の数値は拾えないのか。もしくは出ないのか。

(事務局)

独自の計算は行っていない。

(神戸委員)

近隣市町も、数値を出していないのか。

(事務局)

近隣市町が独自計算をしているかは不明である。

(千頭委員)

知る限りでは、出していない。しっかり計算しようと思うと、各世帯の構成などを把握する必要があり、精度の問題がある。

(神戸委員)

精度は問わない。地球温暖化について、世界水準と同じ市独自の数値は出ないのか。家庭においては、電気・ガス・ガソリン程度であると思う。

(石川委員)

電力・ガスの自由化に伴い、数値を拾えない現状であると思う。

<p>※国民1人ひとりが1日に1kgのCO2を削減することを呼びかけるキャンペーン。</p> <p>環境省による国民運動の「チーム・マイナス6%」が推進していた。</p> <p>現在は、「チャレンジ25宣言」や「COOL CHOICE」に引き継がれている。</p>	<p>(千頭委員)</p> <p>京都では、電力供給可能企業に問い合わせをしたと聞いた。</p> <p>市内供給可能事業者が100社あり、全てに聞き取りをし、ある程度のレベルでは数値を把握したとのこと。</p>
	<p>(神戸委員)</p> <p>地球温暖化対策は、どのように市民の目を向けさせるか。</p> <p><u>「1人1日1kg」CO2削減運動(※)</u>が一般的に推奨されているが、半田市のエコアクションの中に含まれているか。</p>
	<p>(事務局)</p> <p>エコアクションには入っていません。</p>
	<p>(神戸委員)</p> <p>私の提案ですが、「1人1日1kg」CO2削減運動は取り組みやすいので、エコファミリーの中に活動として入れてほしい。子どもは喜んで実践すると思う。ひと工夫で、CO2は削減できる。</p>
	<p>(千頭会長)</p> <p>市として、選択肢を示してあげる工夫が必要である。</p>

(榊原委員)

指標を見ると環境課とクリーンセンター所管で評価が分かれており、評価に迷う。

例えば、環境課所管の電気・ガス使用量、太陽光発電システムや高効率給湯器の導入などは数値を挙げているだけなので、推移は良い。クリーンセンター所管のごみの量などは市民の意識がないのか推移が悪い。

(千頭会長)

市民の頑張りが、ごみに関してはいまいちだということが読み取れる。

柱2は『B』評価としてよいか。

《異議なし》

(千頭会長)

柱2の全体評価は『B』として、中身には、電気・ガス使用量や太陽光等は評価できるけども、ごみの部分が評価できないと明記しましょう。

続いて、柱3に移ります。色々取組は行政でしているが、耕作放棄地の面積が減らない点がいままでも指摘されてきている。その他、外来種の問題等あるが、柱3は全体としては『A』評

価としてよいか。

《異議なし》

(千頭会長)

続いて、柱4に移ります。

(神戸委員)

半田市の自然環境は、非常にいい街だと思っている。

しかし、客観的に評価する方法が必要である。例えば、全国の半島の中で、どの程度かなども、評価できると思う。

(千頭会長)

主観的な意見は、市民アンケート調査で集約できる。しかし、観光客などの客観的な評価方法がないとのご提案です。柱4は、全体として『A』評価としてよいか。

《異議なし》

(千頭会長)

続いて、柱5に移ります。

環境学習などの項目立てがあります。

資料5でご指摘いただいている、アダプトの場合は保険適用

されるが、自治区は保険適応されないのは本当か。

(事務局)

自治区の活動には出ていないと聞いているが、担当課に確認する。

(鈴木委員)

名簿が作りにくいのではないかと思う。

(藏谷委員)

区に道路や水路の清掃等をお願いされているが、市の仕事を区が代わりにやっているのに、保険の対象外と言われた。

(事務局)

委託として、金銭は発生しているのか。

(藏谷委員)

金銭は発生していない。ボランティアである。

(千頭会長)

担当課に確認して、回答を返してください。

[回答 次ページ]

【土木課回答】

道路や水路の清掃等のお願いについては、側溝や水路が詰まらないよう、皆さんが、ごみを捨てない・物を置かない・自分で刈った草は放置しないで片づけてください等を行政協力員会議でお願いさせていただきました。

また、簡易な舗装修理についても、道路の穴ぼこなどで、休日や夜間など直ぐに市の職員が対応できない場合などにおいて、少しでも事故を未然に防止できればと、皆様にご協力をお願いをしたものです。

作業の際、少しでも危険があると判断された場合は、土木課まで通報いただけるだけでも助かりますので、よろしくお願ひします。

(千頭会長)

柱5は、全体として『A』評価としてよいか。

≪異議なし≫

(千頭会長)

全体の中で、再度何かあればご発言ください。

(近藤委員)

プラスチックの問題が、いま大きな話題である。どのように取り組んでいくのかを示しておく必要がある。

(千頭会長)

市民として、どのように取り組んでいくべきか。第2次基本計画では、きちんと取り上げなければならない事項である。

(事務局)

次期計画では反映させたい項目である。市民に分かりやすい計画を策定できるようにする。

(近藤委員)

早急に市の方向性を示すべきである。プラスチックが資源として適切に処理されているのか、資源化を推進する筋道を立てて欲しい。

(千頭会長)

せっかく各委員からご指摘いただいているので、無理に集約せずに、意図を残していいと思う。次回までに、事務局で集約して提示して、第2回目で議論したい。最終的には、市長へ報告させてもらう。

(神戸委員)

第2次基本計画は、どのような進捗ですか。

(事務局)

本日承認いただきましたので、アンケートを実施します。

来年度、策定委員会を立ち上げ、策定していきます。

(千頭会長)

今策定するのであれば、「SDGs」「プラスチック問題」「温暖化対策」は、ポイントである。温暖化対策については、予算を取ってどこかで大規模に行うとよいと思う。

(榊原委員)

予算を取らずとも、10世帯程度のモデルを世帯数で乗じるだけでもよいと思う。

エコファミリーなどを活用して、按分以外にも、一度やってみればよいと思う。按分計算と比較してみるとよい。

(千頭会長)

エコファミリーの数値は、どのようになっているか。

(事務局)

環境家計簿の提出者が非常に少ないが、その数値を持っている。

(千頭会長)

せっかく数値をもっているので、ほったらかしてはいけない。第2次基本計画につなげるため、今年度中に、エコファミリー登録世帯に再度提出させるのも一つの方法である。

	<p>(事務局)</p> <p>検討させていただきます。</p>
	<p>(3) その他について</p> <p>(事務局)</p> <p>会議録について、今までは委員名を伏せていました。</p> <p>しかしながら、本会議は傍聴も認められているため、今回から名前を表記する取扱とさせていただいてよいか。</p> <p>(榊原委員)</p> <p>事前に発言の確認は出来るのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>事前確認はさせていただきます。</p> <p>(千頭会長)</p> <p>各団体からの代表者の方は、団体としての発言ではない、今までの経歴を踏まえた個人としての発言で団体の公式ではないことを議事録に明記してください。</p> <p>(事務局)</p> <p>承知しました。次回会議は、9月24日(火)13:30からを予定しています。</p>

議題は、「平成30年度の実績提案」「10年分の実績評価」「ポスターコンクールの選考」を予定しています。

(千頭会長)

「10年分の実績評価」は第2次環境基本計画につながる大事な評価になります。

(事務局)

中間値から見て、どのように推移・変化したかの視点で評価してください。

(千頭会長)

今回は、少し長い会議になると思うので、余裕をもって参加していただきたい。

以上をもって会議終了。